

## 令和7年度 第1回開成町総合教育会議 議事概要

日 時：令和8年4月22日（水）15時00分～16時00分

場 所：開成町民センター2階 中会議室B

出席者：（町）山神町長

（教育委員会）石塚教育長、村岡委員、本澤委員、野地委員、井上委員

（事務局）岩本参事兼学校教育課長、田代生涯学習課長、大石企画政策課長

学校教育課：大澤副主幹 企画政策課：小澤主幹、鈴木主査

傍聴者：2名

### 1 町長あいさつ

皆様、本日はお時間をいただきありがとうございます。お時間も限られていますので、私の思いは後程お話しさせていただきますので、早速ですが、プログラムに入ろうと思います。皆様、忌憚のない意見をお願いいたします。

### 2 教育長あいさつ

教育委員の皆様、定例の教育委員会の後の会議の出席ありがとうございます。普段、町長とは意見の共有をしていますが、今回のような場で皆さんと意見交換できる場は貴重ですので、今回はよろしく願いいたします。

### 3 協議事項「教育委員と町長との意見交換」

#### 1) 令和8年度の教育方針について

○石塚教育長により、資料に基づき、令和8年度の開成町の教育の基本方針について説明。

#### ■説明要旨

- ・今回の方針については、教育に係る各種計画との整合性を意識して掲げた。
- ・学校教育の目的は「生きる力」を育むこと。今年度は、その推進のキーワードを「ワクワクと挑戦」とする。
- ・開成町のめざす学校教育「子どもも教師もワクワクし、挑戦できる学校教育」
- ・開成町のめざすこども像「自ら考え、自ら挑戦できる子」
- ・学校教育の重点項目
  - ①「生成AIパイロット校事業」を活用した授業改善と学校教育
  - ②幼児期からの読書週間の形成と小中学校でのALTを活用した英語教育の充実
  - ③幼小中一貫で「良い習慣」づくり
- ・開成町のめざす生涯学習「町民一人ひとりが学びを楽しみ、挑戦し続けるまち」

- ・生涯学習の重点項目
  - ①スポーツ・文化・芸術活動による健康な心身の育成
  - ②地域の教育力を活かし、多様な学習機会による「共育」の推進
  - ③郷土の学習や文化財保護を通じた地域文化の継承
- ・令和8年度の主な取組と継続課題について

## ○教育方針の説明を受けての町長の発言

この3年町長をやって、町として子どもたちのためにかくあるべきという思いはありますが、現実的には課題が多いと感じています。その要因は教育行政の仕組みによって、思いを施策に代える自由度、裁量によると思うが家庭環境の多様化により丁寧に答えようとすることで、難しくなっているからです。先生の多忙感も要因の一つと考えています。

私としては開成町らしさの教育とは何かを考えた時に、教育長の方針の説明にもありましたが、幼稚園から小学校、中学校というところを一貫して健全教育として繋げていくことが大事だと思っています。

また、地域の皆さんの力を借りる、地域で育てるというところも開成町らしさだと思えます。DXなどは可能な限りどんどんチャレンジして行ってほしいです。

## 2) 教育に関する町長の思い

### ■発言要旨

#### ・ピンクシャツデーとSSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）

いじめと不登校をネガティブに言うわけではないが、一生懸命取り組んでいく。来年度以降も大きく出ずに小さな一歩でいじめはいけないという雰囲気をつくっていきたい。

#### ・働き方改革

負担をいかに軽減していくか、生産性を高めていくか、学校現場でAIアドバイザーを派遣する予定。チャレンジしていく。

#### ・部活動の地域移行について

これだけ部活動の選択肢がある町は近隣では開成町だけ、もっとアピールしていきたい。唯一の課題はコスト。今のままだと持続可能性に厳しい。

#### ・給食費無償化

保護者の負担にならないよう進めていきたい。

#### ・町への愛着について

小学生から公園に関する提言やイベントへの参加をしてもらっている。我々もそれにこたえていきたい。この2年間人口は減っているが、将来的に住んでいる皆さんが住み続けたいと思っていただくために、町への愛着や経験を積むということは大事だと思う。町を出る人を減らす、戻ってきてもらう人を増やすためには町への愛着を高めないとけないと思っている。

#### ・預かり保育の拡充

幼稚園で昨年度大幅に拡充して、今年度は通年利用ができる環境をつくっていただいた。一定の効果があると期待している。

学童や放課後子ども教室といった、就労支援や働きたい人が働けるような制度を令和9年度に向けて進めていく。

### 3) 各委員からの意見・要望等

#### 委員

社会教育主事の視点でみると、開成町は南部コミュニティセンター等の施設がありますが、誰が見てもここが開成町の生涯学習の中心だ、というところがない。いろいろな人が出入りできる、文献が置いてある、新しい建物を建てるのは難しいと思うがそういう施設があると開成町はますます発展していくと思う。

#### 教育長

町民センターをそういう施設として利用していただければと思います。

#### 委員

町民センターがそうであれば、そういう名称にして図書館や学習室の拡充を図ってほしい。

#### 委員

開成町の図書室は平日20時まで使えるというのはすごくありがたい、仕事終わりでも利用できるのは助かる。町民の方が読書や学習にもっと活用してほしい。

地域で児童を育むということに関連して思うことは、幼稚園や学校の作成物が町の施設や駅の改札口に展示がされており多くの場所で目に付くようになった。特に今年のあじさいまつりの時に小田原駅で中学生の放送があったが。町のイベントに中学生が関わっていく、連携しているということはすごくいいことだと思う。

#### 町長

私も図書館についてはこだわりがあります。

町民センターの学習室の開設もしました。実際利用してもらっている人に向けさらに充実させていきたいと考えています。

イベントについて、去年は70周年ということもあって充実した年でした。これらのカタチを変えて継続していくものを作りたいと考えています。

小田急のアナウンスについては、継続していくことは難しいですが、町としても中学生ともっと連携していきたいと思っています。

#### 教育長

幼稚園や学校も成果物の展示には協力的で、園、学校の協力で子どもたちが関わって自分たちの成果物を家族で観られる環境ができているというのはうれしいことだと思います。

す。

#### 委員

ソフト面は年々発展してきて素晴らしいと感じている。一方でハード面はどうかならないかと思うところもある。福祉会館の多目的ホールは生涯学習の意味合いが強いと思っていて、イベントを開催した際も手ごたえを感じた。貸し館業務として文化的なイベント的な使い方ができていないように思うので、改善し、もっと使いやすくしてほしい。

#### 町長

痛いところを突かれたという思いです。指定管理者制度という制度をあそこに適用した是非、建物も建てた経緯、それらを考えても近い将来大きく改善することは難しいと思うが、課題感としては持っています。

#### 委員

子どもと地域との交流が増えて町ぐるみで子どもを成長させてくれていると感じている。

#### 町長

地域とのつながりは課題と思っているところですが、そうやっていただけるとうれしいです。

#### 委員

文命中学校の空調について、校長からもいい評判を聞いているので、ぜひ、小学校にもできるだけ早く空調を入れてほしい。中学校の様子を見て一段と思った。

#### 町長

効果を前向きに捉えていただきありがとうございます。

小学校の予定については今のところは決まってはいません。暑い時期は文命中学校を使ってもらうことを想定しながら、あとは小学校の老朽化と相談しながら考えていきます。

#### 教育長

部活動の地域移行について、県内で一番進んでいると思うほど全部活動の移行が済んでいて、次のステップにいくという段階だと思っています。

開成町は他の自治体に比べて生徒数が多く、部活動の選択肢はたしかに近隣より多いが、バドミントンやダンスなど他の選択肢を広げていくということを考えた時、総合型スポーツクラブのような母体があって、そこから指導者を派遣してもらうような流れが必要だと考えます。コストの話は分かりますが、個人の力に頼るような体制こそ持続可能性がないのではないかと思います。

## 町長

これを機に新しい部活動を増やす、というのはチャレンジしてほしいですが、費用がかかりすぎているという面もあります。町内でバドミントンといえばあの人、という顔が見えているのに、そこを迂回して総合型スポーツに頼むのはコストが高いと思います。役場として、もう少し汗をかいてコストを下げるということを進めていきたい。がんばっていきましょう。

## 委員

新しい種目について、生徒がやりたいという種目があって人が集まりそうなものがあれば部として作っていいと思う。

## 教育長

私が聞いた話だと生徒から校長に相談があってそういう話がでてしていると聞いています。

## 委員

部活動の部費をもらう。土日はクラブがあって会費をもらうというところまでまだいないと思うが、受益者負担を検討すればコストの面は改善されるように思う。

## 教育長

平日に加え、土日の展開、地域連携、小さな町でやるには限界があると町長もおっしゃっていたので、近隣の市町村と連携していくことも考えたい。

## 委員

開成町は進んでいる。そのうえで、1市5町で連携もいいと思う。バドミントンは中井町がやっている。そこにいけば活動ができると思う。移動手段がないのが課題だと思うので、そういうところの連携ができるといいと思う。

## 町長

部活動として人数が足りないところは松田町や大井町と一緒に活動している状況です。

## 委員

陸上は山北町と一緒にやっている。

## 町長

学校ごとのニーズが合えば連携してくことが現実的だと思います。ダンスもオリンピック種目になり、バドミントンも話題になる協議なので、実現していきたいですね。

## 委員

開成町の生活支援員について、担任の先生以外にも相談できる人がいるのはとても助かるという話を聞いた。なくさずに続けてほしいという声もあるが、最近、特別支援学級の児童が増えているということも聞くので、そこも踏まえて、支援員についての予算をつけていただいて、手厚くしてほしいと思う。

## 町長

南小で38人ほどの特別支援学級の子がいるので、そこは対応していきたいと考えて

います。学校教育において、しっかりした物を購入するというのは分かるが、相場よりも高いものを購入している傾向にあるように思っていて、そういった面でコストの話をしてはいますが、特別支援学級への支援員配置などについてはコストの話ではなく、お金をかけていきたいと考えています。

#### 委員

私も午前中支援員として入っているが、担任が指導すべきか、支援員か、という判断をしつつ、できれば複数人で係ることで、先生自身の精神的にも安定が図れるのではないかなと思う。引き続きの支援をお願いしたい。

#### 教育長

SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）の存在はとても大きく感じました。

#### 委員

そちらの人数を増やすのか、支援員なのか、というのは議論していった方がいいと感じる。

#### 町長

4月に入庁したこども課の職員は専門性の高いスキルをもっているなので、そういう部署とも連携し、人材を最大限活かしていきたいと考えています。

#### 委員

部活動の地域移行については、引き続き今後も見守って行ってほしい。子どもたちも地域移行での部活が当たり前の世代になってきている。

#### 委員

子どもが小さいうちは駅前に子育て支援センターがあるが、小学生になると室内で活動できる場所がない、あると働いている親も助かるという話をよく聞く。

#### 町長

そういう場所を実現したいという夢はありますが、難しい。そういう声があるということは承りました。

## 4 その他の説明

○開成町立学校教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画について、学校教育課の大澤副主幹から説明。今後は総合教育会議の場で計画の進捗管理を行う。

## 5 閉会

#### 教育長

こういった機会、普段はなかなか設けることはできない。委員の皆さんもこういう場だからこそ言えた意見もあると思います。次回の総合教育会議もこのように有意義な会議

にして行けたらいいと思います。教育委員会としてもありがたい場でした。

#### **町長**

総合教育会議は教育という分野で何をすべきか、実行していくか、ということを協議する場であると思いますが、普段から町長部局と教育委員会で協議をしつつ、しっかりと意見が言えるような環境をつくるよう努めていきたいと思います。

今日は大変有意義な意見をいただいたと思っています。ありがとうございました。